

衆議院文部科学委員会ニュース

平成27.3.27 第189回国会第3号

3月27日（金）、第3回の委員会が開かれました。

1 独立行政法人日本スポーツ振興センター法の一部を改正する法律案起草の件

- ・義家弘介君外4名（自民、民主、維新、公明、社民）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者浮島智子君（公明）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、社民）

2 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・下村文部科学大臣、大家財務大臣政務官、赤池文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

柚木道義君（民主）

- ・大臣が代表を務める政党支部が、「〇〇博友会」と地方名を付した複数の任意団体の活動を受けて得た資金を、それぞれの団体の会員個人の寄附として処理したことが、政治資金規正法違反に当たるとして、市民団体から告発されたことについて、大臣の認識を伺いたい。
- ・政治団体「博友会」及び全国の任意団体の「〇〇博友会」の活動計画や年会費納入状況等に関する資料が作成された経緯について、大臣に伺いたい。
- ・任意団体「近畿博友会」が、その規約に「会費は年払いとし、『自由民主党東京都第11選挙区支部下村博文』宛てに振り込む」旨の規定を置いていることを示す資料があるが、事実関係を大臣に確認したい。
- ・大臣に政治献金を行っている学校法人等で構成される団体の理事長が、公設民営学校導入の方針を決定した内閣府の国家戦略特区ワーキンググループのヒアリングに参加していたことは不適切であると考えているが、大臣の見解を伺いたい。

郡和子君（民主）

- ・大臣の政治団体「博友会」が提出した平成25年分政治資金収支報告書において、主たる事務所を民間企業の所在地としながら事務所費を計上していないことに関し、団体の事務処理の実態などを大臣に確認したい。
- ・大臣が代表を務める政党支部が、個人による寄附に対する領収書のうち一定の任意団体の会員が行ったもののみ但書に「年会費」と記載したことに関し、当該記載を行うに至った経緯、個々の領収書について記載を判断した基準及び実際に記載した総件数を大臣に確認

したい。

- ・大臣の秘書官が、全国の任意団体である「〇〇博友会」に対し、取材を受けないよう依頼するメールを配信するなどしたことについて、国家公務員法上問題がないか、文部科学省の認識を伺いたい。
- ・市民団体に告発されるに至った大臣の政治資金の扱いが教育行政の不信をも招いていることから、大臣はその責任を取るべきであると考えているが、見解を伺いたい。

初鹿明博君（維新）

- ・教育の場においてもダイバーシティ（多様性）を認めるべきか、国が定める一定程度の価値観を当てはめるべきか、児童生徒が多様化する中で男女別の髪型を細かく定めるような校則も残る現状を踏まえ、大臣の基本認識を伺いたい。
- ・障害を持つ児童生徒も保護者や本人の希望に応じて普通学級に就学させるべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・平成27年度予算案には医療ケアのための看護師を特別支援学校に配置する予算が計上されているが、普通学級及び特別支援学級にも措置すべきではないか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・教育委員会の障害者雇用率について、全ての自治体が法定雇用率を達成するよう文部科学省が指導する必要があると考えるが、見解を伺いたい。

鈴木義弘君（維新）

- ・学習者や学生の幸福のためには、知識・技能（IQ）を習得させるだけでなく、他人の気持ちを理解する能力（EQ）を高める教育が必要であると考えているが、

- 大臣の所見を伺いたい。
- ・大臣は、大学教育を刷新すると所信の中で述べたが、学科試験を実施せずに面接や論文のみによる大学入学者選抜を行う大学がある現状において、これからの厳しい時代を生き抜く若者の教育は可能なのか、大臣の所見を伺いたい。
 - ・大学は、学生の資格取得のみを目的とするのではなく、特定の学問の追求や知的財産の集積など各大学がそれぞれの強み・特色に応じた方向を目指す必要があると考えるが、大臣の所見を伺いたい。
 - ・教育が格差を生んでいるとの指摘がなされているが、大臣の所見を伺いたい。

- ・独立行政法人理化学研究所が策定した研究不正再発防止のためのアクションプランは、改革委員会の提言書を真摯に受け止めていないのではないかと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・来年度の予算における、少子化等に伴う教職員定数の自然減について、大臣の記者会見での発言及び財務省資料との間で数値に差があるようだが、財務省の見解を伺いたい。

畑 野 君 枝君（共産）

- ・川崎市における中学1年生殺人事件を受けて実施した児童生徒の安全に関する緊急調査の結果及び今後の児童生徒の安全確保を図るための方策について、文部科学省に伺いたい。
- ・スクールソーシャルワーカーを緊急増員するとともに、今後、不登校や安全確認ができない児童生徒の問題に対応するため、計画的な増員を図るべきだと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・児童生徒一人ひとりに目が届くきめ細やかな質の高い教育の実現のため、制度として35人学級を公立の小学校2年生以上及び中学校においても実現すべきだと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

大 平 喜 信君（共産）

- ・高等学校等就学支援金及び高校生等奨学給付金の申請手続に係る現場の事務負担を軽減するため、両制度の申請を同時に行うことができる等の手続の簡素化が必要ではないかと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・高等学校等就学支援金及び高校生等奨学給付金の申請書において、個人のプライバシーに踏み込んだ内容を記載させることのないよう、国から各都道府県に対し指導する必要があると考えるが、大臣及び文部科学省の見解を伺いたい。

吉 川 元君（社民）

- ・任意団体「近畿博友会」の会員が、同会の規約に「会費は年払いとし、『自由民主党東京都第11選挙区支部下村博文』宛てに振り込む」とあるとおりに振り込みを行った場合、一般的に会員は寄付ではなく年会費として振り込んだものと考えているが、大臣の認識を伺いたい。